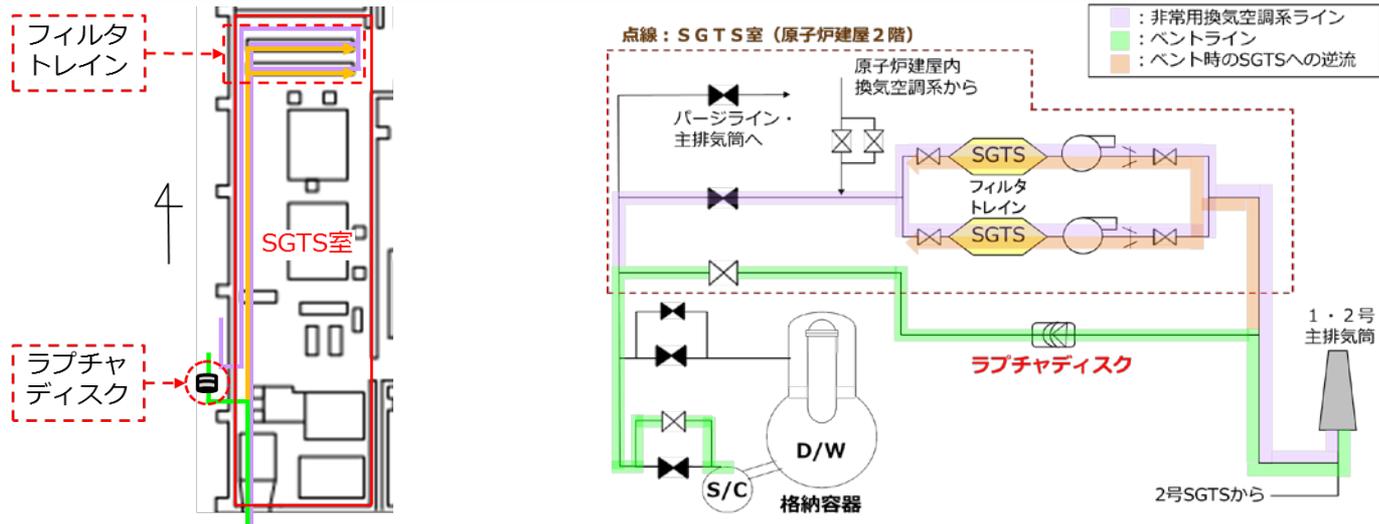


福島第一原子力発電所 1号機SGTS室調査結果(速報)

- 当社は「福島第一原子力発電所1～3号機の炉心・格納容器の状態の推定と未説明問題に関する検討」として、事故進展の解明にかかる取り組みを継続している。
- 1～4号機の非常用ガス処理系（SGTS）室内の機器や配管は、事故時の状態を留めており、格納容器ベントに伴う放射性物質の放出挙動と関係など、事故進展にかかる検討に資する情報であるため、2020年9月より1～4号機のSGTS室内において、線量や汚染状況の詳細調査を実施している。 <2020年7月30日お知らせ済み> <2020年10月29日お知らせ済み>
- 1号機のSGTS室内においては、8月25日に実施した予備調査の結果を踏まえ、12月15日に詳細調査としてフィルタトレインを中心とした線量調査を実施。調査の結果、フィルタトレイン周辺が約1～2[Sv/h]であることを確認した。
- 今回取得した線量情報は、格納容器ベントに伴う放射性物質の放出挙動など、事故進展の解明に向けた取り組みに活用していく予定。



<参考> 線量測定結果

本調査結果 (12/15測定)

線量率測定箇所

測定点	線量率 (mSv/h)
①	5.57
②	16.7
③	120
④	280
⑤	84.1
⑥	1330 2270 (床面)
⑦	1420
⑧	1510
⑨※	880
⑩※	1020
⑪※	1180
⑫※	1470
⑬	1580

測定高さは約1m

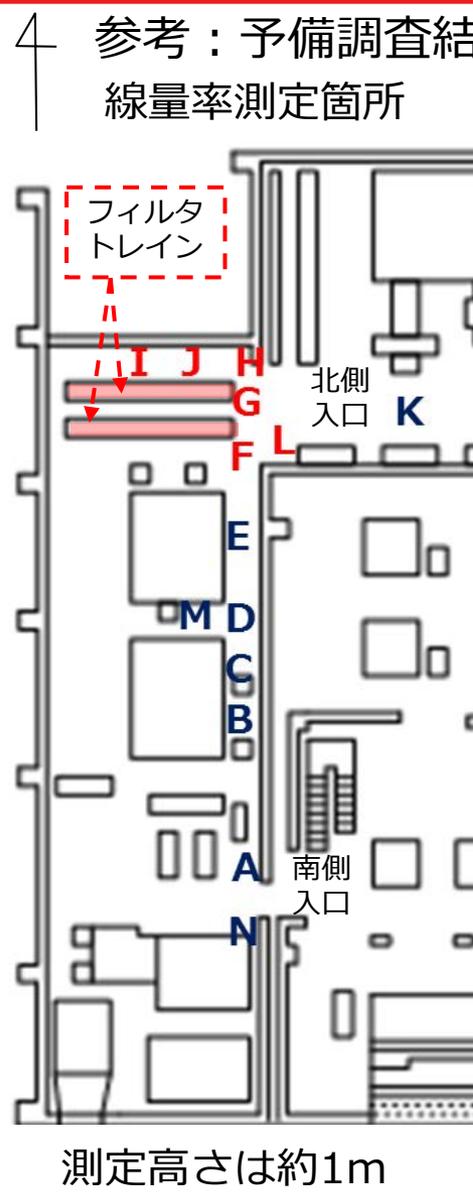
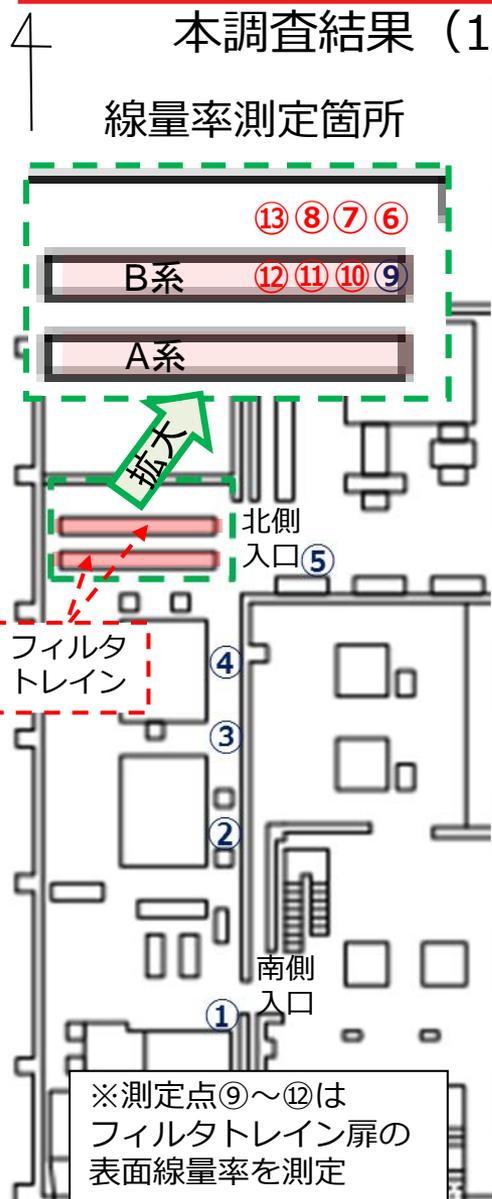
※測定点⑨～⑫は
フィルタトレイン扉の
表面線量率を測定

参考：予備調査結果 (8/25測定)

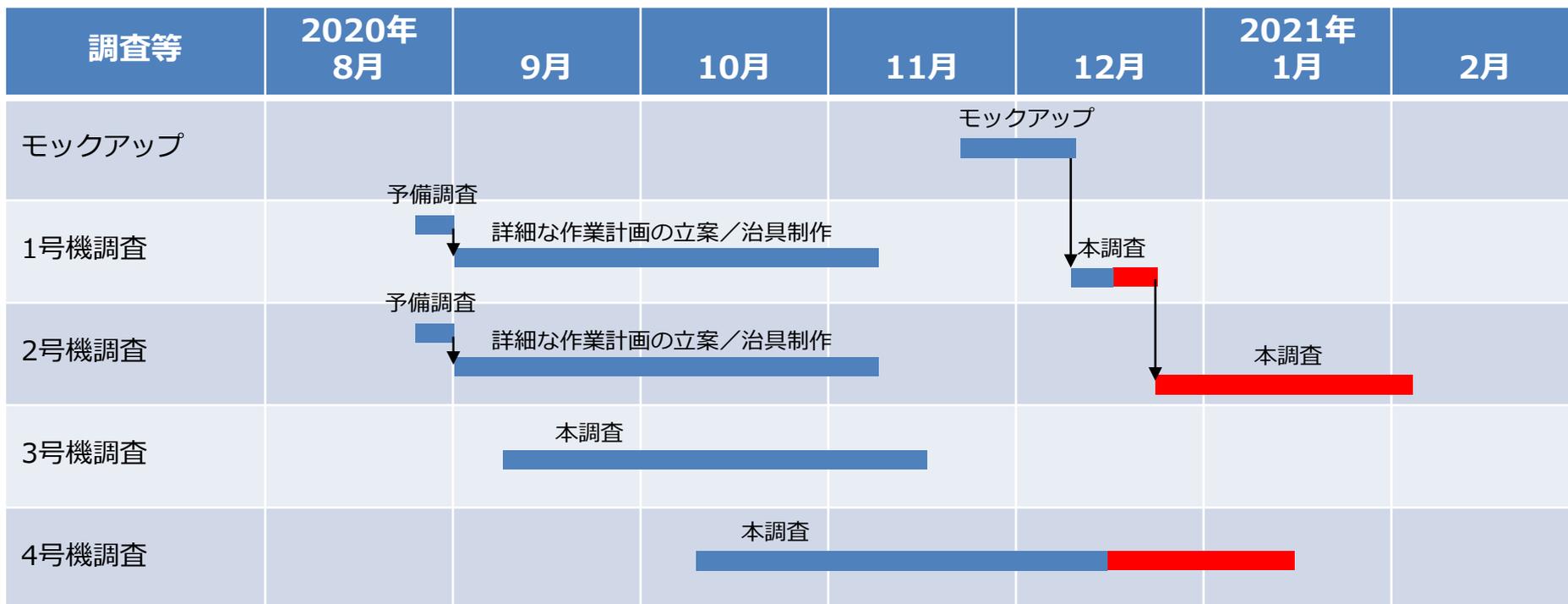
線量率測定箇所

測定点	線量率 (mSv/h)
A	5.1
B	16.6
C	110
D	150
E	310
F	1050
G	2050 3050 (床面)
H	1270
I	1620
J	1040
K	50
L	1060
M	160
N	6.76

測定高さは約1m



<参考> 工程



<参考> 測定機器・測定手段

■ 調査に使用したロボット：PackBot等



- ・サイズ：全長820mm、全幅770mm、全高180mm
- ・重量：23.9kg
- ・メーカー：FLIR社（米国）
- ・型式（名称）：PackBot
- ・カメラ、線量計、γイメージャー等を搭載

■ 線量測定に使用する機器：γイメージャー（ガンマカメラ）等

○γイメージャー

- ・サイズ：外径110mm、高さ700mm
- ・重量：約15kg
- ・メーカー：Createc社（英国）
- ・型式（名称）：Gamma Imager
- ・測定範囲：0.05mSv/h～1Sv/h
- ・γ線の3次元線量分布が取得可能（γ線測定結果と3Dスキャン情報の組み合わせ）



○線量計

- ・サイズ：130mm×60mm×46mm
- ・重量：350g
- ・メーカー：POLIMASTER社
- ・型式（名称）：PM1704M
- ・測定範囲：0.01μSv/h～13Sv/h

